

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		高齢者等畜産奨励金事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
				予算科目	会計	款	項	目	備考											
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア	奨励金の交付頭数	頭	1,510 1,166	1,435 1,171	1,470 1,168	1,370	1,370	1,370		
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	報償費					イ										
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	70歳以上及び女性単独経営の肉用繁殖牛飼養農家 但し、子牛せり市時の名簿を基本					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする		事業期間	H6 年度～ 年度 ( 年間)				ア	繁殖牛飼養戸数	頭	480 453	423 389	389 362	360	360	360		
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト						イ	繁殖牛飼養頭数	戸	7,000 6,816	7,330 7,284	7,284 6,992	7,000	7,000	7,000			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価									
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円	(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul> 受給対象となる方々全てに支給できている。70歳に達すれば全ての生産牛農家が対象となる。また、単身女性経営者においても対象となる。										
	国県支出金	千円																		
	その他特定財源	千円																		
	一般財源	千円	3,498	3,513	3,504	4,110	4,110	4,110												
	事業費計 (A)	千円	3,498	3,513	3,504	4,110	4,110	4,110												
	所要人員 (年間)	人	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300												
	人件費概算 (B)	千円	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680												
(A) + (B)	千円	5,178	5,193	5,184	5,790	5,790	5,790													
(2) 事業概要										効率性 評価  達成度 評価										
事業目的	高齢者等が畜産経営を継続することで、畜産基盤の確保と福祉の向上を図る。								令和元年度より1頭当たりの奨励金を3,000円とした。 令和4年度より、交付上限を20頭とした。											
事業内容	70歳以上及び女性単独経営者（以下高齢者等）が有する豊富な経営能力及び飼養技術を活用しながら高齢者等が畜産経営を継続することで、畜産基盤の確保と高齢者等の福祉向上を図る。																			
開始経緯	高齢者及び女性単独経営者は子牛をせり市場に運搬することが困難なため委託することが多く、経費がかかる。その一部を助成するために旧町において平成6年頃より開始。合併を期に交付基準等統一された。																			
実施状況	(R4年度実績) 198件、1,168頭に対して支給を行った。3千円/頭。														高年齢者等に対し交付することで、生産基盤の維持につながっている。但し、大規模農家の高齢化が進んでいる。					
成果	肉用牛は本市の重要な基幹作目であるが、これら高齢者等が飼養を継続されることで、生産基盤の維持につながり、高齢者の生産意欲向上に貢献できた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 廃止終了							
課題	高齢者等が飼養している肉用繁殖雌牛の頭数は、約3割を占めているため、生産基盤の維持が必要である。また、多頭飼育者の対象が含まれるようになる。								規模拡大農家および新規就農者を支援し、生産基盤の拡大を図る施策についても、今後、検討が必要である。											

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市畜産振興協議会事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 6	備考	ア	生産者団体数	団体	14 14	14 14	13 13	13 13	13 13
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	補助金、負担金及び交付金						イ						
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	生産者団体				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする						ア	粗生産額 (畜産部門)	億円	190 186	190 191	190 194	190	190	190
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト	事業期間	H21 年度～ 年度 ( 年間)						イ						
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	家畜飼養管理技術は日々新しい技術導入があるため、各部会の研修会等を通じて農家毎の技術向上が図られる。また、部会組織がある生産者はすべて対象となるので公正である。						
	財源内訳	千円															
	国県支出金	千円															
	その他特定財源	千円															
	一般財源	千円	2,459	1,132	1,567	2,940	2,540	2,540									
	事業費計 (A)	千円	2,459	1,132	1,567	2,940	2,540	2,540									
所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.200	0.100	0.100	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	志布志市における産業として酪農・肉用牛・豚・ブロイラーは重要な位置づけにあり、産業振興及び税収の確保の観点から行政として関わる必要がある。2農協にまたがるため、各部会の統合は現状として難しい。事務局は本市へ一本化されているため、事務の効率化は図られている。							
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	1,120	560	560										
(A) + (B)	千円	3,019	1,692	2,127	4,060	3,100	3,100										
(2) 事業概要																	
事業目的	市内畜産生産者団体で構成し、畜産に係る活動の連携と振興方策の推進、関係機関との連携を促進することにより、農家の所得向上と市の畜産振興を図る。																
事業内容	市内畜産生産者団体で構成し、畜産に係る活動の連携と振興方策の推進、関係機関との連携を促進することにより農家の所得の向上と市の畜産振興を目的に活動するため、運営補助金と農協助成金を受け入れ、協議会の活動と生産者団体へ助成金を交付する。 令和5年度には畜産振興大会を開催する。																
開始経緯	合併協議の中で、畜産関係団体を統合した団体を設立し、運営費補助の簡素化と各種事業を農協と市と一緒に取り組むことを目的として設立する方向で協議してきた。																
実施状況	・生産者団体への助成金交付 ・総会の開催																
成果	生産者団体ごとの活動を通じ、畜産農家の所得向上推進と、本市畜産振興に資した。																
課題	関係団体と継続した連携を図り、振興策の推進と生産者団体の円滑な活動に努める必要がある。																
改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了							
		市と農協が相応分の負担を行い、畜産振興に取り組むための協議を行う。また畜産振興大会について、開催年等の協議を行う必要がある。本市畜産振興を図るうえでは、必要な組織である。															

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		肥育経営支援対策事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア		イ				
まちづくりア(基本目標)		3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア		イ				
(個別目標)		2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金、補助及び交付金				イ							
(施策)		2	1次産業の振興	対象	肉用肥育素牛を外部導入する農家(肥育専門・一貫経営農家)				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)		1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする						ア		イ					
(施策)		2	新規就農総合支援プロジェクト	事業期間	H26 年度～ 年度 ( 年間)				イ							
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価	
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)		所管課による評価	
年間トータルコスト	財源内訳	国県支出金	千円													有効性評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	8,640	7,210	7,150	8,000	8,000	8,000							
		事業費計 (A)	千円	8,640	7,210	7,150	8,000	8,000	8,000							
		所要人員 (年間)	人	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250							
		人件費概算 (B)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400							
		(A) + (B)	千円	10,040	8,610	8,550	9,400	9,400	9,400							
(2) 事業概要																
事業目的		肥育素牛の導入支援を行うとともに、子牛価格の買い支えを図り市内肉用牛生産基盤の維持を図る。														
事業内容		経済不況等に起因する消費の減退や各種資材等の高騰に伴い、牛肉の消費が低迷し、肥育経営は厳しい環境であることから、市内の肥育牛農家が導入する肥育用子牛の導入費用に対し、補助金の支出を行うことで、肥育牛経営の維持を図る。														
開始経緯		経済不況等に起因する消費の減退に伴い、牛肉の消費が低迷し、肥育経営並びに繁殖経営ともに厳しい環境であることから子牛価格の引き上げと導入負担軽減をはかる必要があった。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費等減退や、濃厚飼料価格高騰等に伴う経営逼迫が懸念されているため、引き続き支援が必要である。														
実施状況		(R4年度実績) 黒毛和種 : 177頭5,310千円 (30,000円/頭) 交雑種 : 132頭1,320千円 (10,000円/頭) 交雑種初生牛 : 104頭 520千円 (5,000円/頭)														
成果		新型コロナウイルスの影響により、枝肉価格が下落し肥育経営を逼迫した時期もあったが、この事業を活用したことで市内産子牛及び肥育素畜の頭数確保ができた。														
課題		新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明感並びに枝肉価格の低迷及び各種資材等の高騰から、引き続き支援を行う必要がある。														
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了		改革改善案 円安等による配合飼料高騰や、牛肉消費減退等による経営の逼迫が懸念され、計画的な導入が困難となっている。				

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		高品質生産対策事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
				担当係	畜産管理係						活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)			
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア	導入頭数	頭	530 481	545 410	493 332	481 /	481 /	481 /	
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金、補助及び交付金						イ								
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	肉用牛繁殖飼養農家 搾乳用乳用牛飼養農家 養豚繁殖豚飼養農家														
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	H26 年度～ 年度 ( 年間)						ア	粗生産額 (畜産部門)	億円	190 186	190 191	190 194	190 /	190 /	190 /
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト								イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価								
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)											
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円			700	700	700	有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性									
	事業費	その他特定財源	千円																
	事業費	一般財源	千円	22,143	18,097	11,177	20,000	20,000								20,000			
	事業費	事業費計 (A)	千円	22,143	18,097	11,177	20,700	20,700								20,700			
	事業費	所要人員 (年間)	人	0.300	0.300	0.300	0.400	0.400								0.400			
	事業費	人件費概算 (B)	千円	1,680	1,680	1,680	2,240	2,240								2,240			
		(A) + (B)	千円	23,823	19,777	12,857	22,940	22,940	22,940										
(2) 事業概要																			
事業目的	各畜種において、市場性や生産性の高い種畜の保留導入を進め、安定した畜産経営の維持を図る。																		
事業内容	(肉用牛) 毎月開催される曾於地区子牛展示品評会において、最優秀賞または優秀賞牛で、曾於中央畜産市場から導入、保留した雌子牛とし、導入後3ヶ月以上飼育した雌子牛が対象。また、前記以外の牛で、当該年度の曾於地区畜産共進会(郡共)出品牛も対象とする。 (乳用牛) 外部導入(市場から血統が明らか種畜を購入すること)・自家保留(農家で育成した種畜を搾乳用に仕向けること)される雌子牛とし、導入・保留後3ヶ月以上飼育した雌牛が対象。 (豚) 繁殖用専門に飼育された農場より、外部導入(市場や種豚場)される種畜(豚♀・♂)とし、導入後3ヶ月以上飼育した種畜が対象。 なお、肉用牛においては県の全共出品対策事業も活用する。																		
開始経緯	合併以前より、畜産生産基盤の維持、強化や改良を図ることを目的として、導入等に対して支援を行った。 なお、濃厚飼料費の高騰、円安等により経営費の逼迫が懸念されるため、引き続き支援が必要である。																		
実施状況	(R4年度実績) (1) 肉用牛: 子牛展示品評会出品牛 = 最優秀市内34頭、市外3頭、優秀71頭 : 曾於地区畜産共進会出品牛 = 全共開催の年のため該当なし (2) 乳用牛: 自家保留・導入93頭 (3) 豚 : 雄18頭、雌113頭																		
成果	優良種畜の確保が図られ、改良と生産基盤の維持に寄与した。																		
課題	安定した生産基盤の整備のため、継続した支援が必要である。																		
				拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了							
		改革改善案 農家所得に直接結びつく内容である。 令和5年度より、肉用牛においては、県単事業(全共出品対策事業)の財源を充当し、導入を図る。																	

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		畜産施設整備支援事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア		イ									
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)		3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	1	6	1	6			畜産農家戸数		戸	553	524	486	450	450	450			
(個別目標)		2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目				負担金、補助及び交付金				イ									
(施策)		2	1次産業の振興	対象				畜産農家				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)		1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間				H26 年度～ 年度 ( 年間)				ア		家畜飼養頭数 (牛・豚)	頭	120,210	115,000	114,661	121,000	121,000	121,000
(施策)		2	新規就農総合支援プロジェクト	イ				家畜飼養羽数 (鶏)				千羽	1,748	1,300	1,306	1,600	1,600	1,600			
													1,142	1,488	1,579						
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価										
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)													
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul> 国、県の事業対象となる場合はその事業を優先して取り組んでいるが、事業採択要件に満たない農家について対応している。事業実施希望者については、受益者負担がある。また、事業実施に係る要件が整えば実施できることから、公平・公正である。											
	財源内訳	千円																			
	国県支出金	千円																			
	その他特定財源	千円																			
	一般財源	千円	7,376	5,300	1,800	6,900	6,000	6,000													
	事業費計 (A)	千円	7,376	5,300	1,800	6,900	6,000	6,000													
所要人員 (年間)	人	0.300	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果向上</li> <li>・事業費削減</li> <li>・事務の効率化</li> <li>・費用対効果</li> <li>・財政負担の必要性</li> <li>・関係者との連携</li> </ul> 補助対象の範囲及び内容に対する補助の程度 (補助率及び上限金額) を要綱において設定して、交付している。												
人件費概算 (B)	千円	1,680	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400														
(A) + (B)	千円	9,056	6,700	3,200	8,300	7,400	7,400														
(2) 事業概要																					
事業目的	畜産経営の環境保全を図るとともに、規模拡大や家畜糞尿処理対策に伴う施設整備により、畜産経営の基盤強化を図る。																				
事業内容	規模拡大、家畜糞尿処理に伴う畜産施設整備に対する補助。																				
開始経緯	畜産農家の高齢化等により畜産基盤が弱体化し、基盤を維持拡大するため増頭等を呼び掛けたが、施設整備の費用が多額であることから、国の補助事業では対象とならない施設に対して補助事業を開始した。																				
実施状況	(R4年度実績) 牛舎1棟、堆肥舎2棟																				
成果	規模拡大、家畜糞尿処理に伴う施設整備が図られた。																				
課題	規模拡大並びに家畜糞尿処理に対応するため、今後も実施し、畜産基盤の維持・拡大を図る必要がある。																				
				改革改善案		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了		資材高騰により、建設費用の上昇が懸念され、併せて、畜産物価格の低迷等もあり、増頭意欲の減退も懸念される。													

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		肉用繁殖雌牛導入事業貸付金		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
				予算科目	会計	款	項	目	備考											
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア	貸付導入頭数	頭	66 98	93 79	80 52	65 65	65 65			
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	貸付金					イ										
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	肉用牛繁殖農家				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする						ア	子牛平均価格	千円	700 695	700 720	600 551	600	600	600	600	600	600
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト	事業期間	年度～ 年度 ( 年間)					イ										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価			
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)							
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円													有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性			
		その他特定財源	千円	22,606	20,081	15,299	18,521	19,978	23,000										導入費用を金融機関から借り入れる場合に保証人の確保が困難でありまた、借り入れ利子の負担が発生する。貸付を希望する農家に対し貸付がなされている。貸付限度額を超える導入については自己資金で対応している。	
		一般財源	千円	8,565	3,587	0	4,479	3,022												
		事業費計 (A)	千円	31,171	23,668	15,299	23,000	23,000	23,000											
		所要人員 (年間)	人	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150											
		人件費概算 (B)	千円	840	840	840	840	840	840											
	(A) + (B)	千円	32,011	24,508	16,139	23,840	23,840	23,840												
(2) 事業概要																				
事業目的	肉用牛の改良を目指した増頭更新を進め、生産基盤の確立と肉用牛経営の維持安定を図る。																			
事業内容	繁殖雌牛導入資金を農協に貸し付ける。 子牛＝貸付上限70万円で5年間無利子（貸付上限1/2が市貸付金） 妊娠牛＝貸付上限80万円で3年間無利子（貸付上限1/2が市貸付金）																			
開始経緯	昭和63年より肉用牛繁殖雌牛の更新に係る繁殖牛の育成牛価格が高騰し、適正な更新が困難になり導入資金の貸付について要望があり、同様の制度を設けた。																			
実施状況	(R4年度実績) 貸付内容 52頭（子牛51頭、妊娠牛1頭） 貸付先 そお鹿児島農業協同組合及びあおぞら農業協同組合																			
成果	肉用繁殖牛の改良と適正な更新が図られ、経営安定に資することができた。																			
課題	繁殖基盤の改良、更新、増頭に向けて事業継続が必要である。																			
				拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了								
				需要が増加した場合は貸付金額の見直し（増額）が必要である。																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		乳用牛導入事業貸付金		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移										
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
まちづくりア(基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア	貸付導入頭数	頭	16 0	16 0	10 0	5	10	10	
(個別目標)	画面	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	貸付金					イ									
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	酪農家						成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	事業期間	H5 年度～ 年度 ( 年間)					ア	平均搾乳量	kg	8,800 8,639	8,700 7,563	8,000 7,466	7,500	7,500	7,500	
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト							イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価										
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価										
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>									
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	0											
	一般財源	千円	0	0	0	3,500	7,000	7,000											
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	3,500	7,000	7,000											
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050											
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>										
(A) + (B)	千円	280	280	280	3,780	7,280	7,280												
(2) 事業概要										達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標</li> <li>目指す状況</li> <li>実現性</li> <li>情勢、環境の変化</li> <li>事業期間</li> </ul>								
事業目的	専門農協を通じて酪農家へ無利子で貸付を行い、乳用牛の淘汰、更新により酪農経営の維持安定を図る。																		
事業内容	搾乳用育成雌牛(初任牛)導入資金を県酪農協に貸し付ける。(貸付上限70万円で3年間無利子)																		
開始経緯	乳用牛の更新に係る育成牛の価格が高騰し、適正な更新が困難になり導入資金の貸付について要望があり、本制度を設けた。																		
実施状況	導入を計画していたが、配合飼料価格等の各種資材の高騰や、牛乳消費減退等により経営が逼迫し、導入できなかった。								改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了									
成果	牛乳生産については、需給バランスの早期改善が必要となっている。									農家段階において、牛群改良を行うことで、乳量を増産できるため、計画的な牛群改良が必要である。また、円安や配合飼料価格高騰等に伴う費用の増加により経営の逼迫が懸念される。なお、令和4年度より、貸付上限の見直しを行った(50万円/頭→70万円/頭)。									
課題	適正な更新と改良を行う必要があることから、事業を継続する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需給バランスの早期改善が必要である。																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市全国和牛能力共進会推進協議会負担金				担当課	(3) 指標の推移																								
						農政畜産課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度																			
						担当係	活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																
						畜産管理係				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)																
						会計	1	6	1	6																					
						項																									
						目																									
						備考																									
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち				予算科目						ア	生産者団体数	数				9	9	9										
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち				主な費目	負担金、補助及び交付金					イ																		
(施策)	体系	2	1次産業の振興				対象	志布志市全国和牛能力共進会推進協議会					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)										
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする										ア	子牛平均価格	千円				600	600	600										
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト				事業期間	R5 年度～年度 ( 年間)					イ																		
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価																						
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																						
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul>																					
	財源内訳	千円																													
	国県支出金	千円																													
	その他特定財源	千円																													
	一般財源	千円				500	500	1,000																							
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	500	500	1,000																							
所要人員 (年間)	人				0.100	0.100	0.200																								
人件費概算 (B)	千円	0	0	0	560	560	1,120																								
(A) + (B)	千円	0	0	0	1,060	1,060	2,120																								
(2) 事業概要											効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果向上</li> <li>・事業費削減</li> <li>・事務の効率化</li> <li>・費用対効果</li> <li>・財政負担の必要性</li> <li>・関係者との連携</li> </ul>																			
事業目的	全国和牛能力共進会への出品に向けて、協議会としての取組を支援する。									全共鹿児島大会の結果を受け、早急な取り組みが必要である。 次回大会（北海道大会）への出品を目指す。																					
事業内容	志布志市全国和牛能力共進会推進協議会の運営に係る負担金																		市、農協等の関係機関と一体となり、出品に対する機運を高めることにより、出品に対する取組を促す。 令和5年度より次回大会に向けて、若手農家を中心とした育成技術向上を図る。												
開始経緯	全国和牛能力共進会出品に向けての機運を高める。																									達成度評価					
実施状況	-																<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標</li> <li>・目指す状況</li> <li>・実現性</li> <li>・情勢、環境の変化</li> <li>・事業期間</li> </ul>														
成果	全国和牛能力共進会に出品することで、志布志市の名声を高めることができる。また、志布志市内の肉用牛農家への意欲向上につながる。									次回大会（北海道大会）への出品を目指す。 出品することにより、志布志市の名声を高めること、また、市内肉用牛農家への意欲向上が図られる。																					
課題	若手農家を中心とした新たな組織化を整備する必要がある。																							改革改善案							
																															農協等の関係機関との連携を図り、育成技術の向上を図り、各種共進会への上位入賞を目指す。また、若手農家を中心とした生産者団体を新たに組織化することで、市内肉用牛農家の連携が一層図られることが期待できる。
																	○ 拡充      現状維持      改善      効率化      廃止終了														

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		畜産配合飼料高騰緊急支援事業		担当課	農政畜産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
				担当係	畜産管理係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	6		ア	畜産農家戸数	戸			450	
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	負担金、補助及び交付金					イ						
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	畜産農家				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする						ア	粗生産額 (畜産部門)	億円				190	
(施策)	戦略	2	新規就農総合支援プロジェクト	事業期間	R4 年度～ 年度 ( 年間)					イ						
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価					
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)								
年間 トータル コスト	財源内訳	国県支出金	千円			59,484	4,050		有効性 評価	配合飼料価格は高止まりしており、今後も配合飼料価格の動向等を注視し、財源の確保等が可能であれば、支援を検討する必要がある。						
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円			266										
		事業費計 (A)	千円	0	0	59,750	4,050	0								0
		所要人員 (年間)	人			0.200	0.100									
		人件費概算 (B)	千円	0	0	1,120	560	0								0
	(A) + (B)	千円	0	0	60,870	4,610	0	0								
(2) 事業概要																
事業目的	畜産配合飼料価格の高騰に伴い、畜産経営における経費が増加し、経営が逼迫しているため、配合飼料費の増加分に対して一部を支援することにより、農家の負担軽減を図る。															
事業内容	配合飼料価格高騰分に対する一部支援															
開始経緯	円安や海外の情勢等により、配合飼料価格が高騰し、畜産経営を逼迫しているため、高騰分の一部支援を行い、経営の維持を図る。															
実施状況	(R4年度実績) 肉用牛(繁殖) : 349件 養豚 : 9件 肉用牛(肥育) : 13件 プロイラー : 18件 乳用牛 : 8件 採卵鶏 : 2件															
成果	配合飼料価格高騰分の一部支援を行うことにより、経営の負担軽減が図られた。															
課題	円安や海外の諸情勢の先行きが不透明なため、今後も注視する必要がある。															
				改革改善案		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了				
		令和5年度6月補正に、国交付金活用により乳用牛を対象とした支援を計画する。今後は、国交付金や国事業等を注視しながら、対応の検討が必要と思われる。														